天草日記

全巻之一冊

特別
リ5
15790

15
15790

鴻原天草一揆始末書付之覚

一　松倉之門当領分世ノ年七八月の比より陽ニかく
　　沙汰之事

一　鴻原両之村と申ハ百姓共
　　人数いく千人と云事を不知
　　給帳を元ニ
一　大矢動鴻原領之村浦之村三会村布津村江
　　津之村之小浜岩村ノ外之たく十二之
　　ケ村ニ領を四ケ所ニ貴賤男女

して、[illegible]
一　たゞ色々取計候
家名再興の事
同名跡たゝせ
候もの共へ
一　たゞ今人数捕
被下候ハゝ
者を起之節
一　たゞ今打
なお添川村小
村へ起し候
属し事
一　十月十日
宇都宮
出陣之節
事ニ候
等を以天人
如くいう
ものの
ゝ御村

仕切書一ヶ
文丹二成ル一ヶ

七ノ十月十六日　書面

たゞ一村一ヶ一ヶ
村中ニ居ル村中ニ
相ナシ百六十六ヶ回ヨリ
沙地ヲ野ヲ踏込一ヶ
一ヶ一ヶ天野ニ
ヲ人ヲ則天人ヲ
ヲ人ヲ

一　一ヶ村ニ
ヲ人ヲ則天人ヲ
軍神田之印
一　一ヶ
一ヶ
一　古利文丹一
ヲ事

寅ノ元日試筆
御館仕地掃除
御館仕地掃除辰上使
辰上使教来冬上春ヲ手通

等敵攻落元三ヶ合戦死人新

一たゝ通路ゟ東ゟ敵ニ而大矢
村上津浦村下津浦村次ゟ東路ゟ大浦合津
今泉田村川田村なゝゟ下場ゟ田之江
ゟ十月ゟ廿ゟ迄ゟ

一たゝ通ゟ西ゟ而当国ニ居ゟ寺沢ニ庫以侍九
人ゟ内ゟ大路ゟ大浦合津ニ而ゟ敵ニ而ゟ
合場ゟ下村ニ右村ゟ而ゟ一両人ゟ
いと別而ニ成敗仕ゟ而ゟ村ゟ而ゟ
日天ゟ而ゟ田野浦ニ而ゟ文司嶽ゟ下村ゟ

一たゝ初ゟ而ゟ一人ゟ
内ゟ捕男女三人ゟ
一ゟ此ゟ郷ニ而ゟ村ゟ
紀ゟ村ニ而ゟ上津浦大矢野ニ而ゟ
いゟゟの初ゟ居ゟ
ニ宅ゟ東方ゟ城代
細以二ゟ下ゟ
唐津ニ庫以而当国ゟ
唐津ニ而ゟ卯ゟ
為仗ゟ

一 大手通筋之東方ニ而名称相定候
中手筋ニ而又ハ搦手ニ而ハ無之候
尤二組と申ハ
持場之義ニ而
手大将人数
一 同十二日ニ而ハ二組手組ハ海手ニ而
浦手ニ而ハ静手ニ而
搦手ニ而ハ一組ニ而
ハ一向ニ而ハ無之候

一 大手通筋之東方ニ而名称相定候
中手筋ニ而又ハ搦手ニ而ハ無之候
尤二組と申ハ
持場之義ニ而
手大将人数
一 同十二日ニ而ハ二組手組ハ海手ニ而
浦手ニ而ハ静手ニ而
搦手ニ而ハ一組ニ而
ハ一向ニ而ハ無之候

一 大手通筋之東方ニ而名称相定候
中手筋ニ而又ハ搦手ニ而ハ無之候
尤二組と申ハ
持場之義ニ而
手大将人数
一 同十二日ニ而ハ二組手組ハ海手ニ而
浦手ニ而ハ静手ニ而
搦手ニ而ハ一組ニ而
ハ一向ニ而ハ無之候

一 大手通筋之東方ニ而名称相定候
中手筋ニ而又ハ搦手ニ而ハ無之候
尤二組と申ハ
持場之義ニ而
手大将人数
一 同十二日ニ而ハ二組手組ハ海手ニ而
浦手ニ而ハ静手ニ而
搦手ニ而ハ一組ニ而
ハ一向ニ而ハ無之候

[illegible]

一 大手合戦ノ後當城ニ籠城スル事

一 日ナシ方ヨリ[illegible]ル小船ニ乗リ村々ヲ焼拂ヒ一揆ヲ陣丸ヲ焼拂ヒ[illegible]ル事

一 日ナシ方ヨリ[illegible]ル小船ニ乗リ村々ヲ焼拂ヒ一揆ヲ陣丸ヲ焼拂ヒ[illegible]ル事

一 大手合戦ノ後當城ニ籠城スル事

一 日ナシ方ヨリ[illegible]ル小船ニ乗リ村々ヲ焼拂ヒ一揆ヲ陣丸ヲ焼拂ヒ[illegible]ル事

一 大手合戦ノ後當城ニ籠城スル事

一 日ナシ方ヨリ[illegible]ル小船ニ乗リ村々ヲ焼拂ヒ一揆ヲ陣丸ヲ焼拂ヒ[illegible]ル事

一 大手合戦ノ後當城ニ籠城スル事

一 日ナシ方ヨリ[illegible]ル小船ニ乗リ村々ヲ焼拂ヒ一揆ヲ陣丸ヲ焼拂ヒ[illegible]ル事

一 大手合戦ノ後當城ニ籠城スル事

又吻を二重ニ重ニ
蛇籠を打下刻一
海原ハケ野ニて
打ニ
原ハ敵ニ
ハ大矢蛇上ハ浦へ
留置ニ人質ヲ
ヲ陣ニ焼拂ニ
ニ蒲野ニ

一
一

ニ事

ニ仕合ニ日大ニ
ニ天ニ神ニ
ハ大ニ形ニ
人ニ物ニ大矢野上津浦ニ
討ニ
一段ニ
物ニ
ニ

為差遣之間
を以松戸より上ヶ浦一ヶ所方へ人数
を繰出し候ニ付
之を防ぐ為め人数
大矢野へ繰出し候処
為差遣之間
を以松戸より上ヶ浦一ヶ所方へ人数
を繰出し候ニ付
之を防ぐ為め人数
大矢野へ繰出し候処

一
為差遣之間
を以松戸より上ヶ浦一ヶ所方へ人数
を繰出し候ニ付
之を防ぐ為め人数
大矢野へ繰出し候処
為差遣之間
を以松戸より上ヶ浦一ヶ所方へ人数
を繰出し候ニ付
之を防ぐ為め人数
大矢野へ繰出し候処

一
為差遣之間
を以松戸より上ヶ浦一ヶ所方へ人数
を繰出し候ニ付
之を防ぐ為め人数
大矢野へ繰出し候処
為差遣之間
を以松戸より上ヶ浦一ヶ所方へ人数
を繰出し候ニ付
之を防ぐ為め人数
大矢野へ繰出し候処

一
為差遣之間
を以松戸より上ヶ浦一ヶ所方へ人数
を繰出し候ニ付
之を防ぐ為め人数
大矢野へ繰出し候処
為差遣之間
を以松戸より上ヶ浦一ヶ所方へ人数
を繰出し候ニ付
之を防ぐ為め人数
大矢野へ繰出し候処

一
為差遣之間
を以松戸より上ヶ浦一ヶ所方へ人数
を繰出し候ニ付
之を防ぐ為め人数
大矢野へ繰出し候処
為差遣之間
を以松戸より上ヶ浦一ヶ所方へ人数
を繰出し候ニ付
之を防ぐ為め人数
大矢野へ繰出し候処

新規田地百石大浦
一
年号慶長十八年
一枚年号元和四年
と年号寛永十年
十年己巳
一
大力坂
一
年号慶長十八年
三人と浦
一
年号慶長十八年
七ヶ年
一
年号慶長十八年
七ヶ年
一
年号慶長十八年
七ヶ年
一
年号慶長十八年
一
年号慶長十八年
一
年号慶長十八年
一
年号慶長十八年
一
年号慶長十八年

[illegible]
[illegible]
大夫曽[illegible]
[illegible]

一 [illegible]
[illegible]
小疫[illegible]
又祖[illegible]
十五年戌刁

一 [illegible]
[illegible]

[illegible]
[illegible]
[illegible]

し天草に大矢野と申す者を大将に立
合て寄足申越候ニ付て拙者も遣候
らハ天草を鎮と
存候ニ付て拙者ハ天草十六ヶ所へ
一吉利支丹宗門ハ
御制禁ニ候ニ付て天地
御ハ京右ニ御座候事ニ候ニ付
ハ
一拙者人数ハ
吉利支丹宗門ハ
ハ
ハ

人数出之事ニ付、
ニ天草嶋代ニ宅右衛門を初
一
ニ日ニ当番ニ而
番被仰付候ニ付、則次番ニ而
ちつゝ江戸ニ而
ニ人数ニ而
古城ニ而
村〻ニ仕置ニ
非ちつゝ義ニ
古城ニ而人数
能ク城ニ番詰ニ
（二枚合ニ完ヒノ十月朔日ニ
ニ而
ニ千石ニ
ニ而
ニ而
ニ而

死人ハ七人流
一 二月ヨリ三月ニ大江口ヨリ松本寺迄ノ往来
ハ二千四百人出ル 乞食人
二千九百九十四人 病流行ニ
テ死亡ノ者ハ人数ニ入ズ
死人ハ百廿二人 城中ニ引入ル
ハ百 城中ニ数ヲ百廿挺ニ葉二月ヨリ
有ヨリ矢ガ二ツ三ツ
ハ百廿挺ニ葉二月ヨリ
有ヨリ矢ガ二ツ三ツ

一 城中ニ第二月十日ヨリ
乞ヲ禁ジ初ル
一 城中ニ人口十人ヲ有ル事ニ
ヲ禁ジ初ル
一 城中ニ家ニ
物ヲ有ル事
一 四百年ヲ経ル古木ヲ切処ニ、湯ノ出ル事
多ク有ル由ニ申ス 神ヲ切ラントスル

一

一 芦浦為差下
一 有家久意
一 小川村ゟ差下 辛二十
一 松倉重政
一 相澤源兵衛 辛三十二

廿ノ十月 鴻巣一戦ニ討死人数討死ノ員ニ
員ニ事
松倉勝忠ニ討死ノ員ニ

一 討死六人
　 林三郎
　 塚九郎

已上

一 負
　 松田三郎
　 中西弥次郎

　 本村弥次郎

　 彭右衛門
　 当麻藤蔵
　 石原源助

　 竹村彭蔵
　 吉本庄七

一 討死十人

吳服九左衛門

佐々小兵衛

川崎源左衛門

細井源七郎

一 手負

吳服右京

石川理兵衛

世ノ表ハ高ノ鳴子郡ニ而合戦ノ事

宇津宮左衛門討死ノ節分

村久左衛門　　日小十郎

三宅藤兵衛　　今井十左衛門

小栗左馬之助　　細谷治右衛門

古橋彦助

吳服右京

右利文丹打死ノ事

一 鴫原大炊之助　　百人打死ノ

一 源江村与　　百人打死ノ

一 雨宮与　　百人打死ノ

討死也

一 討死

一 手負

日十九日當城ニ一揆等元亀元年ヨリ

一 討死

一 手負

一 討死

一 手負

○ 立花飛騨守方討死手負分

山本作左衛門

吉利支丹討死合廿人余

一 討死

十村彌兵衛

一 手負

立花ニ而死合ニ八九人ニ手負合三十七八

人有之内ニ疵所ニ而死ニ手ニ

○ 鴫野佐波守ニ而討死手負之

一 手負

扶助以 岩川友馬

旅以 馬淵安右衛

扶助手負六十二人

討死二人

○上使ニ付テ宮人凡弐千之死相含ニ加ル

一 手負 村中甚蔵

一 討死 野尻弥兵衛

有馬左馬之介 伊東次郎兵衛

松平安藝守上使之節 若川久左衛

松倉右近将監上使之節 奥田孫兵衛

○寅正月朝日城責ニ付御作配書事

一 別派ニ変ゆセつト人数を以一石ニ大打扶助ニ

分ゆニ色ニ七ツ宛ニ而一家一ツ付事

一 人数ともニ小陣中さゝくを板ニ一ツ付事

一 扶助手丸紙大ニ扇ニ一ツ付事

一 あい言葉ざいさゝと答ニ一ツ付事

一 扶助打ツ事

一 小屋ニ火ともニ小屋数ニ一ツ付事

○鴉鳴信濃ヨリ之討死之員分

一 討死三百八十壱人内 初伝六人 伝聞二人 中ヲ二ヲ十二人

一 負二千百七人内 初伝二人 伝聞三ヲ二人 初伝九十六人 中ヲ二ヲ九十二人

合二千五百壱人也

○有馬壱岐之討死之員分

一 討死百拾二人内 初伝十八人 伝死者ノ云ヒ ヲ 侍十一人 伝死者ノ云ヒ ヲ 壱人

一 負八百六拾七人内 初伝廿一人 伝死者ノ云ヒ ヲ 侍百二十八人 伝死者ノ云ヒ ヲ 七百十八人

合九百七拾九人

○松倉左門之討死之員

一 討死百十人内 侍十七人 伝死ノ云ヒ ヲ

一 負二百七人内 侍廿八人 伝死ノ云ヒ ヲ

合三百十七人

○松倉左門ヲ初メ加リ之討死之家人、討死之員

一 討死

九人内二人ハ、久田大学ヲ初メ

一 負十九人

○柳生但馬守討死之員十九人

○当沢兵庫ノ内国老但馬守討死場ニ而、

加勢ニ来ル

都合三千八百廿五人

○柏倉同猛討死せい

去年ニ彰義隊ニ加盟ニ而ハ無之候得共、同隊ニ加盟之者ニ対シ、官軍ニ抗シ候ニ付、今更ニ名ヲ改メ、官軍ニ従ヒ、彰義隊ノ人ニ対シ候ハ、実ニ卑怯千万ニ付

○慶応二年丙寅二月廿日也ノ刻一揆蜂起ス

○松平石見守佑右討死ス年四十歳

一討死　　同ス　　當住ス

黒岡盛知　　原ニ住ス　　松山ニ住ス

彰義隊ニ加盟ス　　松平越後守家来ニ而　　教導ス

庄林八十郎　　村沢源ニ住ス　　中ニ籠ル

浦地生年　　二十七歳　　伊達家ニ仕ス

一負　　同ス　　同ス

長島三郎　　戸田角三郎　　旧弘前藩

松山ニ住ス　　福島ニ住ス　　福島ニ住ス

[illegible]　[illegible]　[illegible]　二味九度
[illegible]　[illegible]　[illegible]　[illegible]
[illegible]　[illegible]　[illegible]　[illegible]
[illegible]　[illegible]　[illegible]　[illegible]

一　又家平討死ス員　侍十七人　侍ス員　平子三人
[illegible]ニ死人十一人　[illegible]ス員四十七人
合百四十八人四十八人討死

○黒田甲斐守者討死ス員分

一　討死

[illegible]
羽柴松丸殿

一　ス員

烟源太兵衛　成田二左衛門
指添ス吏　足軽ス人　合十二人

○黒田市正者討死ス員

一　討死

四名権兵衛　吉永平四郎
松橋十九郎　吉永七左衛門
[illegible]川市右衛門　[illegible]

一 人員
吉田市役所 昭和九年
吉田馬車 辻まつ
廣瀬飛米 松恩次郎
昭和郵便 なし
村上又吉 沖崎次郎
吉田清吉 三好次郎
森本米藏 中村つる
合七十九人 内七十人討死

一 討死
辻新左衛門
弓削八郎
鴨井市郎
横部彌次兵衛
松山二郎
上田宗箇
吉田市郎

○市役所之碑ハ討死之者ノ為
一 討死
張遠江守
松平無量
若崎八郎
中村十三郎
一 人員
三宅藤兵衛
沈田彩帆
鴨井飛雲
加藤清正ノ家来
加藤ノ人 合十四人
一 討死
○鴨池信濃守者討死之者ノ分

秀鳴寺ニ
一人預
長川庄ニ
馬渡石見九ニ
南司清ニ
処ス預ケ
又家中ニ而七人討死 侍ハ七人ニ下ニ
下ニ九十四人 預合百七十人内三十五人死人
○鍋嶋紀伊ニ而討死ス預
一人預
西島ニ
松田七左ニ
都合四百四人 内九十四人討死
鍋嶋ニ
中野ニ
○吉利支丹有様之覚
一 前六十三 内二人生捕
一 日二十 内六人生捕
一 日十一
松倉ニ仕ル
黒田中務ニ仕ル
日市ニ

一日六字九
一日三十三
一日三
合百数二百九十二

鴻巣信濃守
寺沢云庫ヲ
。

○寛二月廿七日八日ヲ討死ス負分

○杜字金馬佐右討死ス負

一討死

須田内ヲ忠	杜長作ヲ
須内ヲ金	八田二ヲ
鉾野須ヲ馬	堀川権ヲ
大石指ヲ馬	妻七ヲ
森庄ヲ三	立花法ヲ集
西良次ヲ馬	野口万ヲ馬

堀川化ヲ	
林ヲ馬	
内田角ヲ集	
与板須ヲ馬	
西服ヲ集	
十七人	

一ヲ負

小川遠妙
仙石商
羽倉文
黒田古助
久野宮之語
秋山治左
岩井之亟
大音吉左
三浦外記
久保半之
池田伊之
井上半兵
荷右馬助
野田源左
小川新助
加藤主水
岩本活右
伊丸善之
小川久吏
伊丸小之語

竹森宗之語
相原新左
相山市之語
林平八郎
義井七右
鷲見市之
中文治之
吉良吉左
富田右十郎
周防左
稲葉小弥左

一柳義左
寺田小兵
近江守助
月本立之
松平十左
岩槻之
吉田半之亟
猪甲斐助
安本彦次
奥村七左

岡牧溝東
分新合更
柏山源東
田中二地
文内稲吉更
島本勘島
芳地源東
落合字島
周辺西落
小川稲吉島

荷田勘東
桃原七東
心本小島
新九ノ島
能田三本
稲七島
十村源落
浮田原島
西里九落
岩本字ノ島

小村化吉更
桃原字島
小川字地
梶尾苗島
松波本島
安苗ノ地
台田七ノ島
稲橋加落
入江八島
小西稲字

大音字島
井西本島
二宮二ノ更
原加落
川村ノ地
梶原字地
三好十島
毛利本東
森九ノ島
神根地島

小村化吉更
本合本落
井稲吉島
新屋久ノ西
白石稲地
岩落字西
木屋浦之落
新房十本島
新房久本島
栗原字本島

華田七ノ島
大音本地
岩本化吉更
森九ノ東
多我戸源島
牧ノ字島
松本字ノ更
中村勘地
月源本島
弁石牛本島

尾江久之丞
上月半右衛門
森井二之進
白久与助
原田三平
小西助之丞
吉二郎
宮尾安兵衛
四久半左衛門
相口源右衛門

石川中九郎
脇山甚助
江森半蔵
羽山二之助
山柳七右衛門
神谷三左衛門
江芥源左衛門
的屋角之丞
木屋安兵衛
小南伸二
小川半左衛門
杉谷善三郎
吉田治部
鈴木八之丞
木村三右衛門
江芥源八郎
川口市之丞
中村喜四郎
吉田義助

広沢千里
江丹久之助
栗生善兵衛
川添四郎右衛門
村上三之丞
山本新五郎
池田善之丞
三上吉蔵
吉田玄伯
角田七之丞

安藤彦兵衛
林久之助
西川九之助
松谷金右衛門
神谷安左衛門
田中園之助
二川松九郎
木村右之助
江森源七郎

柳山七郎兵衛
江芥治右衛門
二之江伊助
山添善之助
安藤三右衛門
乳房松之進
周源吉
脇山三郎兵衛
木村源之助
林吉兵衛

松本半兵衛
組子一挙
土場村ニ於テ
捕方ヲ
突殺シタル
外ニ
手ニ掛ケタル
者十余人
内
湯浅七之進
組ニ於テ
四拾余人
大山主水
江川三郎
中村彦七ニ而
馬尾源蔵
森弥左衛門
本沢安之進
毛戸市左衛門
井原小左衛門
杉村彦四郎
二宮杢兵衛
本山三右衛門
石川彦太郎
中川宇左衛門
山本源八郎
外ニ
組子ニ而
石坂兵人
沢村安四郎

公二百十二人

一討死 足軽八十四人 内ニ負傷ヲ受テ死人ニ
一馬乗三十四人 内ニ負傷百七拾七人 之内ニ而死人ニ
一歩侍三千九人 内ニ負傷二百四十九人 之内ニ而死人ニ

都合千八百六十八人 内 二百十三人死人

○高田甲斐守方ニ而討死之覚

一討死

安部宇右衛門
福田左右衛門

此馬八疋
鎧櫃拾荷

国ニ有之
ニ置有之

一 金貳
田代外記
右御加恵
為御祝儀
今村又左
衛門十七歳

杉村九之助
村沢吉左
衛門
山本九十郎
十七人

一 金九両御預
組田治郎
兵衛
鄭清左
衛門十七歳

田代九之助
兵衛之弟
田代源之助
事也
幸吉

一 金貳両
川端八左
衛門
小田喜平治
山田彦兵衛
宮野与惣
村上源左
衛門
松本市助
長田安右衛
仁科小左
衛門

一 金貳両
山田新兵衛
小林喜兵衛
沈田久右衛門
石原数馬
鴻原小兵衛
結城長左
衛門
松波市左
中村源左
衛門

小川久吉
大村次郎
山井源之助
田八十吉
桜橋辰之助
村上清次郎
有山金助
古川市之丞
宗右衛門
中村与兵衛

立花海蔵
梅吉
大村角蔵
乃小四郎
井上小蔵
上田梅助
岩田要蔵
与松
伊藤要蔵
田海要蔵

上浦八蔵
吉野要蔵
吉田百助
伊右九郎
島村源蔵
新井忠蔵
毛利勘蔵
金九郎
橋津要蔵
中乃伊蔵

桜橋辰之助
原市
加藤伊蔵
吉田与蔵
小池角蔵

安倉久吉
米倉久蔵
大野吉蔵
小山治兵衛
十右衛門

一 死人是迄六人
一 死人又都中倩小者九人
都合三百七十七人 内三十二人死人
○ 是迄市正者討死之人
一 討死

尾村半助
沖友吉屋
一屋頁
東江戸屋
本山安吉
村瀬甚之丞
三矢徳右衛門
松浦彦屋
新加藤屋
山田喜屋

山本三左衛門　　畠田三之丞
宇野二右衛門屋
一屋頁
沖善吉屋
尾村幸吉
古谷十兵衛　　畠田九之助
根岸幸屋
古谷十兵衛
小川治屋
飯田三屋
東江戸屋
畑中和助

山治七屋
富吉屋
沖伝四郎
庄村徳次
宇野治屋
志方安屋
会三千九人
一村乳　又家中小七十七人
一屋頁　是性又家中小七百十六人
都合百七十七人　内十六人死人

畑安屋　　南川猪屋
松屋久屋　　大塚北屋
古田安屋　　施屋助屋
二丹次治　　萩谷屋
村安十屋　　吉田治屋
大西安屋　　富屋屋

○ 獨逸法律學士之討究ヲ須ツ分

一 討究

諸學士ノ集マル
如キ場所
大石大吏
撰法ノ事

一 ヲ須

法案ヲ要ス
就テ討究ヲ
ナス事ヲ
八戸ヲ為

上野九ノ案
静岡ヲ要ス
金風法ヲ
会シ

奈良ヲ要ス
成富ヲ要ス
八戸ヲ為

東京九ノ為
成富撰ヲ
法ヲ撰ス

牛馬九ノ為
八戸ヲ要ス
田中ヲ
ヲ賀ス為
撰ヲ為ス
旦ヲ為ス
ヲ為ス八ヲ
相浦ヲ為ス
馬場ヲ石ヲ
撰ヲ為ス
十三年七人

古河ヲ為
静岡ヲ
ヲ月ヲ為
東京ヲ
ヲ為ス
川剣ヲ
院九ヲ
ヲ為ス
田中ヲ為

○鴻池紀伊守之討死之員

一討死　四代之家来　中尾市之進

一手負

鴻池甚之丞　大木主計
田尻左七　田辺九右衛門
井代半之進　永田清兵衛
石川与三兵衛　赤松源蔵
手塚団蔵　小林久蔵
姫野又左衛門　下二十九人
石田団右衛門
山本義七郎

浦手之衆

杉尾九之丞
辻半蔵
陸地之衆　小林久蔵
下二十九人

一死人合拾八十人又御歩行十九人死人ニ
四十四人手負也

一手負又御中小姓八十九人
御合七百九十九人内百十六人死人也

○細川越中守之討死之員

一討死　平野源三郎　鴻文左衛門

大西海老
兵根宮老
井足ノ老
波賀ノ老
柳澤吉老
柿本ノ老
余目ノ老
宇吉ノ老
金坂周白
新賀ノ老
板村ノ老

吉岩小平
江ノ子ノ
小川ノ老
安藤権ノ助
松岩ノ老
余目ノ老
宇吉ノ老
金坂周白
新賀ノ老
板村ノ老

毛利ノ老
西沢ノ老
弓削ノ老
小坂ノ老
奥津ノ老
伊藤ノ文
源吉源ノ老
児玉ノ源
井上ノ老
益田ノ老

野馬掛ノ文

一ノ貢

鈴山角
宇吉源ノ老
吉ノ文ノ
源ノ文石見
馬田ノ老
西部（家ノ）
若ノ老
中沢ノ老

合三十四人

吉岩ノ老
坂源ノ老
小笠原民部
鶴角ノ老
沢村ノ老
吉永ノ老
小沢ノ老
西部ノ一郎

吉岩ノ老
松尾ノ老
三浦四郎
若ノ老
吉ノ老
通称ノ老
中沢角ノ老

山辰角来
手神源寺来
稲津久来
田中又神
小笠原家女

男信濃守
藤井九右衛
令寺龍来
竹間三右衛

板津内蔵
大本神社
大海来
相馬源平
大元三神

非清浦奎来
飯津市来
藤井助右
安藤宮内更

清成八十郎
飯津新
竹間八来
竹内勘右

角来三郎
作兵衛来
小笠原隼人
村神左衛門

湯浅半来
大日比氏
神服部来
関右衛
竹島四郎来
本多伊来
神服織来
白来更
山村十来
小村来

飯津善兵衛
久神勘十郎
中岩内蔵
古川市神
吉井来宝
坂井右衛門
相馬源平来
松山来
沢村九来
須藤更

吉岡清左衛門
熊谷忠兵衛
市野吉左衛門
湯浅三左衛門
奥村三右衛門
松平平左衛門
乃生右平次
村原十左衛門
里又兵衛
黒沢治右衛門

小姓中之儀
組頭吉岡
清田吉之進
組外八人
御先手之儀
沢治吉之助
熊谷一之進
周西一之進
山田三左衛門
幕田小吉

方御方御
村山吉之進
秋十左衛門
伊川吉吉
吉田左衛門
幕田吉吉
芦田源作
加山吉之助
石田清十郎
三宅勘之丞

吉場二左衛門
服部武吉
山田仲之助
周小平次
上村善九郎
田中新吉
田中吉左衛門
秋山清兵衛
横井半左衛門
吉野彦吉

廣瀬重助
荻村源吉
吉城市吉
坂源勘吉
力津三吉
河戸稲吉
大源善吉
山田七左衛門
秋山吉兵衛
雷田十左衛門

田中吉左衛門
上田吉兵衛
久岭吉吉
河原左吉
大久世十郎
村井半左衛門
藪源助
荻村三吉
中根半平
半野重助

湯澤角之条
杉山平治郎
多賀松五郎
大矢吉二八
吉山多助
笹田小左ヱ
萩生大治郎
笹田勘蔵
大田十蔵
川井松蔵

大矢小三郎
笹田松助
一柳七之条
笹川長蔵
柳原半助
大林十之条
当十蔵
本下喜蔵
小林重之条
杉本久重

杉山二之条
笹田権左条
湯沢十之条
村上市之助
加藤彦条
蛸沢吉之条
吉山久平
石橋久之条
湯本戸七之条
水沢佳二八
梅沢与之助

中地小之条
吉山与条
代々引彦之
岡本吉条
原田吉之条
布施与之条
梅沢九之
多留助重
文村到之条
小村七之条

脇本村之内
寺領之内
一 討死家人
山形作右衛門
吉田新兵衛
一 手負
尾関半左衛門
寺領加兵衛
松下源左衛門
下村之内
田中市右衛門
十人
荒木甚之助
小沢甚兵衛
石原又兵衛
十六人
田中久兵衛
奥村左近
上田作兵衛
北野周防
以上
一 家人手負
吉田善兵衛
大澤源左衛門
以上
一 家人手負
山形作兵衛
寺領加兵衛
井口権右衛門
戸田伝右衛門
大庭左京助
佐野権兵衛
合三十人
中野九兵衛
奥田権兵衛
松下源左衛門
下村之内
岡本半七
松下源兵衛
十人
吉田善兵衛
山本宗兵衛
奥村源八
奥村源兵衛
奥村源八
清田権兵衛

一金貳
長浦二て集
飯沢村中
心誠を以
大行二年御
供を志集
為御理助
西田作集
御永て集
加地古生

同伴人
竹田九て集
石橋武生集
村瀬吉集
富吉生
小川平集
柳平生
御田吉助
出雲国生

山田幻生
大津助生
古橋権吉
為井作生
野心て集
細谷生
中沢市集
心原て集
て浦つ集

御領主
大塚吉生
吉田吉生
池田て集
て浦次生
佐々木生
根代七吉生
石川宇生
安河吉生

武蔵国
西井十て郎
て宅野吉集
石川理生
て浦文生
佐賀権生
中江て生
戸田力生
十五十一人

野中権重
石原小源て
沢本政馬
吉田権十郎
佐為作生
佐賀七生
古て源て集
九里吉生

一歩て生七人　長野ゟ迎下て九。八十三人

一、家人六百
　　内四十五
　　　（捌ヵ）
　　無捕捉者
　　并ニ帰ル者
　　都合三百三十八人　内廿三人死人之
　　十八人

○ 当巳飛騨高者 討死之義

一 討死

小頭弐人
　　内壱人
　　同心七人

西田二居
　　雷同仕
　　小人体ニ而
　　供ニ相随

小人体ニ而
　　供ニ相随

草履七足
　　畢而
　　十八人

古村九文
林権八郎
森吉兵衛
吉郎右衛門
　　雷汁八左衛
　　衛門
石井八左
　　衛門

東田作左
金田甚助
古屋右京
牛村弥左
　　衛門
加納忠七
吉井源右
　　衛門
川崎十左
　　衛門

一、百姓
　　当巳之秋
古郷ニ而
　　打留ル
杉田久左

塩谷宿
若田宿
真岡宿
茂田宿
茂木宿
久下田宿
中泉宿
小井戸宿
小口宿
小口ヨリ
梅井宿
十町ニ
若田宿ニ
松田町ニ
十町ニ
十町ニ
茂田ヨリ
十町ニ
十町ニ
桜林ニ
小口ヨリ
人
茂田宿
行当ニ
多我町ニ
若田宿ニ
同断
森九(化道)
森ニ
麻ニ
戸沢小ニ
来ル七ニ

七ニ
若田宿ニ
小野口ニ
茂田ヨリ
多我町ニ
茂戸羽ニ
塩ニ
真岡ニ
初ニ
行当ニ

若川十町
真岡ニ
小野口ニ
茂田ヨリ
多我町ニ
七ニ
若田宿ニ
小野口ニ
十町ニ
初ニ
行当ニ

小野口ヨリ
若田宿ニ
大谷口ニ
行当町ニ
行者ニ
小野ニ
十町ニ
桜林ニ
本海道ニ
瀬戸谷ニ

中村了之助
家主共惣
一死人是作之家中侍小者共九十七人
一百三百三人

○

一討死
野鳥八左衛門
松平久之丞
添三宅弥

中条兵馬
十六人

松岳安右衛門
黒田治三郎
布施権平
十七人

今枝善兵衛
長谷八十郎

一百貳
能勢尾九左衛門
中地善兵衛
吉田善右衛門
原弥助
林地左馬
山田仁左衛門
辻加左馬

武井政重
里子左馬
伊奈忠次家
高田作兵衛
狩村三郎兵衛
大島三馬
小林左馬

金森伊重
若原左馬
今中十三郎
松下権左衛門
本山左馬
沖左馬

一百貳
足軽七人 内
三家中ともに百七十六人

一死人又家中ニ有之六人
都合二百九九人内老人死人
○
一討死
手負無之
但矢疵者
一手負
小見ニ有之
大井ニ有之
植村能登守
六人
林九郎左衛門
手林茂右衛門
九心ニ而
山本孝右衛門
中根左近
中根左近
手負無之
討死者十六人内
一手負ニ而足痛ニ而九人内又家中侍ニ而十九人討死
都合百九人
○松倉半右衛門ニ而討死ニ有之

一村免
永田之高
村越四之東
一人貢

石橋伊之東
不弁村之内
伝助七之高
安右衛門
弁村助之東
越戸四之高

奥山源之東
十四人

大塚村
山浜吉之高
伊助之高
安右衛門
飯尾善之内
行村吉之

関内通
拾十之東
源戸吉之高
与惣七之高
三浦十之高
行村吉之高

与惣治之高
一家人貢

松本源之東
安宅之高
四石三斗之内
弁之大船
庁免之之東
小山村之内
上原源之高
中村弥之東

松山内之東
十六人

源戸吉之高
勝田玄助
弁村九之高
村之久之高
田畑新義
吉田先祖
町之吉之高
義内之高

与我久之高
手妙之東
狩戸治之高
秀治左之東
村治吉之東
吉田作之東
大治吉之高
義文之高

十九人

一家人討死

森弥左衛門

太田作兵衛

介錯大野

一足軽死人十六人

一負之家中下々三十七人

一打果之門内男女召連候者

都合八十九人内七十人死人

脇戸平馬　　指物平次

永井治兵衛　　菊永次兵衛

○有馬左馬允者討死之負分

一討死

吉川角兵衛　　荒木勘兵衛

石垣主殿　　波江源左衛門

山田源助　　奥平助

川村勘十郎　　上代久馬

猪子治兵衛　　御井大学

小柳勘七　　三原勘兵衛

一足軽

有馬九兵衛

日吉兵衛　　有馬与兵衛

一 足柄死人 中百七人 内
一 步侍 百七十人 内
一 家人 百二十八人 内
都合三百四十八人 内

死人 百三十八人 討死也

内 百人

入江海之助 年廿七

○水野日向守討死 家来

一 討死

松波平之丞

小沢左平助 沼金人

吉良左兵衛
村田新八郎
海上来左衛門
中条孫助
松原七郎
荒木勘十郎
山本伊織
芝多七左衛門
芝木小左衛門
大森孫助

湯味勘之丞
松浪市郎兵衛
海上左衛門
村川治郎左衛門
第一荒若狭
多湯次兵衛
三十湯孫左衛門
湯多
多湯清右衛門
宇野吉左衛門

湯原勘助
川村治助
荒若狭
奥谷四郎左衛門
田治見重
大坂治助
山内吉左衛門
浅海四郎兵衛
西村孫右衛門

中村角之助
浅野勇蔵
安藤堅吉
稲垣角吉
前仲吉
溝口金兵衛
小倉政吉
中山外記
今方平吉
前田吉兵衛
福吉安吉
野呂勇吉
岡田源吉

中村半助
上田平六
野添幸吉
高田門兵衛
小倉政吉
中山外記
今方平吉
前田吉兵衛
福吉安吉
野呂勇吉

浅野勇蔵
安藤源吉
上田清兵衛
小松治吉
沢井吉兵衛
今方安吉
野添権吉
佐々木勇吉
三村勇吉
飛田源吉

中山吉兵衛
稲垣角吉
安井宗吉

会所ニ詰ル人
一、家侍九人 討死ス 内ニ負傷十九人
一、足軽百五人 内ニ負傷十六人 内二人討死
都合ニ百七十八人 内百八人討死也

一 討死

○松平修理亮ニ而討死ス内分

秋山新田

一 百姓

浅井善之助
大鳥友治
田畑七反
畑七反
園吉
川柳治助
林治助
助右衛門

西村まで

酒井二十万石
本領十万石
畑方新田
飛地新田
沖新助
三橋義人
川上
十二人

野百姓

秋山村
三田村
畑方
飛地
地借
畑方
新田三反

一 百姓 安治十四人 又家中侍三人 死人

一 百姓足軽二人 又家中侍ども 六人

合百九人 内六人死人

○ 戸田左門若討死ニ而分

一 討死

内五人
家内之者

一 百姓

岩井源吉

成川市ニ而
十四人

酒井源吉

封印有之

浜辺市ニ

井上伸吉
稲垣新重
池久治吉
小村十吉
　子十才人

一負是非　十吉人
　加合三十八人　内只人死人

一討死

○松平丹波守領
一負

小林市蔵
中村三代吉
平野七郎治
松九左衛
子安源治郎
石井周蔵

加藤幸重
本沢市兵衛
鈴木九十郎

一負

小松市蔵
今泉半之丞
池久治吉

小田部吉蔵
藤内左衛門
　十八人

惟勤兵衛
宮加九兵衛
平井六郎
市橋半蔵
三橋善重
西脇金蔵

大久保弥兵衛
浅野久蔵
神谷十郎
梅井武兵衛

一死人 当作十六人 四千貫四千六
一千貫 三年ノ内ニ六千七人 死人十人
於令五十九人 四千四人 死人

○死人 想於令 千貫三十人
○千貫 想於令 六千九百六十七人

想人数二百令八千九十四人也

○一換物之分

一本九大将 弁田四帝実時貞
一二九大将 有馬掃部重正
一三九大将 通泰野馬吉次家
一四九大将 有馬盛物実次
一侍大将 池田清左馬元時
一訴訟以 上津浦伊兵忠次
一日 下津浦次左馬伯耳
一使番 多〻良治右馬正時
一日 裏田六兵衛重

一月
一月
一二九番詰拳訪
一三九番詰拳訪
一二九詰施以
一月
一出九番詰拳訪
一足柄大將
一月

公二多人余

公津次之東京府
有馬市之兒玉
喜四郎之東 治之
三号三番正安
梶帆兒人西次
大矢卓三之生
茂吉小吉生 實利
有馬喜一郎生
公津友之助 西尾

添侍三百人
小姓十六人
騎卒百八十九人
鉄砲拳訪八十三人
城中男女合三万五千人余之

一 今般 天文 事

天地日報万物一切衆生不撰貴賤亦北木石
無名無實之嘆召拾緩點原舊不顧惶捧
矣文呈願令施心指改年罔都且北彩欲
心之妨一向家門之教雖謝天恩而已教度之
飢向無止對天帝輕命者幾ヶ埋尸野山子盡
被世殘甚名到於代家者有科無罪或現
恥辱或半死半生之消息語無言北戎之無(悟)
名利座此前預達上聞石叶民若只有代時
逆隆令家門一門白黄泉之餞多固古城雖
果旬我等不忘後世之形望況雖逆天理荒

有雖哉篭城之徒然云遠之有採有眼者九
回之猶將双旌呼叫之罪人呵責之莊時盡
粮米斬薪岩泳增而餓鬼通目前ヶ現世者
雖ヌ上之苦請必来世九品之上輩生(ト)有何
疑作願宕君押怒按忿之御心緒要之徒輩
等被遁妻女之罪数万之人民云一町之地
根本之原城外之被剣着名場後代成佛得
脫之緣生前思出死後之望不如之刹那之間
一紙之通幼奉希所也恐惶謹言

十二月十二日

城中

上使御近習中御沙汰留

一城中へ浪人矢野小左衛門と申もの忍入、
御老中へ御意之事と申入、
御老中へ御意之事と申入、
御老中へ御意之事と申

当余古河札之辻より

一 安浦村天神屋敷北ノ川 一里

一 浦石村上石井辻百弓小 一里

一 村小ノ松原ノ中 一里

一 村渡より石松ノ中 一里

一 村町ノ内川ノ大町南 一里

一 ろう村町ノ中 一里

一 日村大江ノ橋ノ小辺場 一里

一 日村荒川山茶屋ノ中 一里

一 か津佐村かい瀬境ノ坂 一里
一 日村宮原坂ノ口 一里
一 山村栂嶺ノ茶屋ノ下ノ平 一里
一 飛ノ原茶屋ノ茶 一里
村湯本
一 ひく坂ノ上茶屋 一里
一 千々石村町ノ口 一里
津村原ノ中ノ
一 山田村ノ内ノ年ひくき田ノ中 一里
一 当山村小ノ端三宝境 一里

二 伊福村清屋ノ小茶師ノ辻 一里
一 神代村上ノ下 一里
一 土黒村下原出口 一里
一 大く村ノ端矢井ノ口 一里
一 三会村町記掲二ツノ内 一里
一 小西津宮之西ノ方 一里
ロナシ 塩原古町札ノ辻、
会式十四里十町四十五間也
雨ノ雲月ノ
田中家文書

一 巳ノ十月カラ子ノ正月迄ノ間ニ名ヲ変動シ家宅処ヲ
ヨソヘ引ンダ者ハ其ノ村ヨリ何ニ届ケ出ルヤ
一 ヨソノ村ヨリ何ニ届ケ出ルヤ
一 他国人ヲ十月ヨリ来ル正月迄ニ泊ル日数届ケ出
ヌル事
一 一ヶ所ニ泊ル日数ヲ届ケ出ル村ヘ届ケ出ル
ヨリ前ニ立ル事
一 ヨソノ村ヨリ何ニ届ケ出ルヤ

代友村之内ニて出ル処ハ市場ニ而会計致
し候事

一 日吉町ニ而ハ呉服ものを初諸色ニ而も
代銀ニ而売買いたし候事

一 日吉両町ハ村ニ而ハ無之候へ共
諸色高直ニ付

一 文右ヱ門・源江村ニ而人数ニ応し玉源江村ニ而ハ吉利支丹ハ不申
諸色ニ而ハ無之候へ共

一 日吉町ニ而ハ諸色ニ而ハ無之候へ共
日吉両町ハ村ニ而ハ無之候へ共、町人ニ而ハ無之候へ共、
一 日吉両町ニ而ハ家作ニ而ハ無之候へ共

入組ニ事

一 日吉両町ニ而ハ諸色ニ而ハ無之候へ共
一 源江村ニ而ハ諸色ニ而ハ無之候へ共
一 大工ニ而ハ諸色ニ而ハ無之候へ共
一 多ク石ニ而ハ無之候へ共
文丹ニ而ハ諸村ニ代友村ニ而ハ諸色ニ而ハ無之候へ共
諸色ニ而ハ無之候へ共
一 諸色ニ而ハ無之候へ共
一 神代領ニ而ハ無之候へ共
一 諸色ニ而ハ無之候へ共

一　無年貢造もの之儀ハ御検地之上ニ而
御取箇可被仰付候事
一　府内御用金之儀、此方ニ而ハ
御引受不申上候事
一　三雪ニ而ハ十三ケ村ニ而御用金
十二ケ村ニ而引受申候事
一　東室岡ニ而ハ十三ケ村ニ而御用金之儀
ハ百姓共ニ而引受申候事

一　西古賀茂村ハ古田村ニ而引受申候事
一　阪本村ハ御検地之上一捨ニ而一人ニ而
三石宛ニ而御引受申候事
一　温泉一焼ニ而ハ十ケ人ニ而引受申候事
一　中心村ハ古利支丹ニ而代官ニ而預り申候事
一　御供村ハ代官山内出雲守ニ而預り申候事
一　やさうり御免ニ而ハ十三歳ニ而ハ湯帆
とうとうみ拾一歳ニ而ハ歳ニ十二歳
きわうたん之儀ハ御検地之上ニ而御取箇

右之書面之通ニ相違無之候事

已上

十一月朔日

多賀谷氷
畏安新吉
田中宗史

元

吉利支丹ニ宗門ニ村〻ノ人数

一 弐万六千九百八十五人

内

一 七万四千五百五人　男
七万弐千九百六拾人　女

右吉利支丹ニ宗門ニ村〻ノ人数

一 七万八千四百七十一人

内

一 九千九百十九人　男
八千五百十二人　女

右吉利支丹ニ宗門ニ村〻ノ人数

一 七万四千五百五人　男
七万弐千九百六拾人　女

右吉利支丹ニ宗門ニ村〻ノ人数

一 七万八千四百七十一人

内

一 八千五百八十三人　男
七千九百六十一人　女

右吉利支丹ニ宗門ニ村〻ノ人数

一 七万八千四百七十一人

内

一 九千九百十九人　男
八千五百十二人　女

右吉利支丹ニ宗門ニ村〻ノ人数

一 少弐百廿六人内
　弐百拾弐人　男
　弐百十四人　女
　内
　弐百廿人内　弐百八十弐人　男
　　七百三十九人　女　吉利支丹
　内
　弐拾二人内　弐百七人　男
　　弐百七十弐人　女
一 四百八ヶ所　　寺数
　内
　　弐百廿四ヶ所　　三会村
　　吉利支丹

弐百四十弐ヶ所
一 八百十三人内
　四百三十八人　男
　三百七十五人　女
　内
　弐百十五人　男
　弐百人　女
弐百四十弐ヶ所　　浄原村
吉利支丹
弐百十五人　男
弐百人　女
弐百廿ヶ所　　村
弐拾二人　男
百七十弐人　女
寺数
浄原村
吉利支丹

一 百四十七ヶ所
内 七十弐ヶ所

内七十四ろ
一七百十九人
内 三百八十六人男
三百卅三人女
内
三百六十人内 三百五十九人 男
三百一人 女
八十四人内 八十一人 男
三人 女
一九十九ろ

寅数

村百姓
中条陽村
吉利支丹
村百姓
中条陽村

一七百八十六人内 三百七十四人 男
三百十二人 女
内
百八十四人内 百三人 男
八十一人 女
六百二人内 九十七人 男
百三十二人 女
かぞえ数

吉利支丹
村百姓
安沈村
吉利支丹
村百姓
安沈村
吉利支丹
村百姓

一百十四ろ
内 訳十六ろ
八十九ろ

一 千八百六十人 内 九百七十七人 男
八百七十七人 女
深江村

一 三百四十人 内 八百八十三人 男
七百八十七人 女
吉利文丹

一 三百十六石八
内 百八十四人 内 九十四人 男
九十人 女
封百姓

一 三百十六石八
内 訳 電数
深江村

一 三百七十七石八
内 訳
吉利文丹
封百姓

一 三百三人 内 八十人 男
二十三人 女
布津村

一 百九十六石
かぬと牧
日村

一 八百六十六人 内 四百七十人 男
三百九十六人 女
雲仙村

一 百八十二石
かぬと牧
日村

一 四百四十六人 内 訳 九十三人 男
沙弥 沙弥 三十二人 女
多氣村

一。百七十ろい　かまと救　日村
一　文百七十二人内　弐百壱人男　百七十一人女　日村
一　八百廿七ろい　かまと救　日村
一　二百九百廿九人内　二百七十四人男　千九百廿五人女　か津佐村
一　弐百八十一ろい　かまと救　日村

一　千九百六十二人内　九百八十一人男　九百八十一人女　日村
一　百九十二ろ　かまと救　日村
一　七百六十二人内　三百六十二人男　四百卅七人女　平山村
一　弐百六人内　百五十七人男　百卅二人女　小渕村

内
一　百廿五ろい　古利支丹　ろく九ろい

弐百弐九人内　右弐百六人　男
　　百三人　女
一　寺四ヶ所
内　弐百四ヶ所
　　弐八ヶ所　　小浜村
一　弐千弐人内　千九十八人　男
　　九百二十人　女
内
　八百七人内　男ヶ七人　男
　　弐九九人　女
　千百七十六人内　百七十人　男
　　弐ヶ所　女

一　三百九十四ヶ所　　かもと牧

内
　弐九十ヶ所　　古利支丹
　百八十六ヶ所　　抔百姓

惣合
弐万七千六百七十一人内　七万弐千三百九十九人　男
　　七万三千弐百七十二人　女
内
　百弐拾文冊方　弐万三千八百九十一人内　一万二千三百弐一人　男
　抔百姓方　三千七百七十ヶ人　一万四千四百九十八人　女
　　弐千七百十二人　男
　　千七百十二人　女

寵教合

四千六百七十一石内

三千九百九十二石

古利又舟

寛永十五年 寅 二月十日

一 弐百弐十八人内

一 弐拾八人

一 七百五十人内

一 九十四石

一 七百四十人内

古利又舟ニ乗之村々人数并竈数

百四十四人 男
百廿四人 女

東宮前村

かやと数

日村

百四十人 男
三百十人 女

大野村

かやと

日村

百十一人 男
三百二十九人 女

湯江村

一百六十五
一 二千二百八十九人内
一 一百六十五
一 二千二百七十八人内
一 一百六十五
一 一百六十九人内
一 一百七十三
一 八十四人内
一 十三
一 一百七人内

日村
多治良村
日村
山馬村
日村
五百九十九人男
四百十六人女
西江村
日村
四十四人男
四十人女
伊古村
日村
一百六十八人男
一百八十四人女
伊福村

一。。。人口　　かつと　　日村
一　小百六十人口　百三十九人男　三宝村
　　百十六人女
一　五十戸　　かつと　　日村
一　二百六人口　三百三十六人男　当山村
　　弐百八十九人女
一。十九戸　　かつと数　　同村

一　六百九口人口　富六八人男　山田村
　　四百九十六人女
一。七十戸　　かつと　　同村
一　三百弐人口　ろ七十八人男　野母村
　　ろ九口人女
一　六十七戸　　かつと　　日村
一　弐百四十八人口　南口十六人男　要津村
　　百二人女

一 一〇十三ヲ
一 八百八人内
一 百弐十九ヲ
一 弐百六十八人内
一 百ヲ
一 千弐百弐十七人内
一 百九十八ヲ
一 百九人内
一 一〇〇ヲ
人数
合弐万八百九人内 六ヶ浦八人 男
内弐千百九十一人 女

町方
日村
百三十三人 男
三百七十弐人 女
西古賀村
町方数
日村
弐百八十一人 男
弐百四十七人 女
日足村
町方数
日村
百九十ヲ人 男
百六十六人 女
武永村
町方数
日村
八十三人 男
弐十六人 女
根鳥村
町方数
日村

竈数

合千九百六十二号

寛永十五年寅二月十二日

[illegible]

[illegible]

[illegible]

一百五七人内
七十人 男
四十七人 女
一 沙弥三十人内
弐百三十一人内
七百沙弥九人男
七百弐人 女
一 六百八十三人内
三百四十七人男
三百四十六人 女
一 八百一人内
弐百七十人男
三百卅一人 女

元

田中宮更
西吹之水
暮不獨寒
宮田高砂
井村神集
秋山紅葉
奥田雁來
松田雪集
村山賀幼

暮年新之風
田中高之集
秦歌可
共谷川年集
乖村新年集
田中高集
松田雪集文
行原年八
下司猪八

多我八集
津田清文
宇山孫藏
熊田恭集
甲斐孝治
橋爪作藏
山本為集
山浦吉之
玉野作之
沼倉又一郎

安原周蔵
平沼勘三郎
池田精一郎
沼倉作集
坂下集人
石井勘七
大田稔集
沼倉武之
森治平次
松角文

林小三集
笠川幸集
子安九一郎
竹尾助集
津田文藏
中村福集
島田元助
小川七藏
島治治集
本村勘三集

是枝春集
成瀬九集
佐野吉集
吉良勘吉
牧中治集
沼倉幸集
山口三文
江口十藏
川上八集
芳賀了集

山口又名
古芸川之東
馬川之北
仰丹宗仁
栗原智次
堀池義重
大鳥吉重
古芸川安次
為我基之
仰如小弓

竹林休甫
小西伯次
吉永庄七
庁島平之助
細谷友重
林云吉文
島平小二
仰如七平
吉如右之座

山浪右衛門

如如前外
児平二九
三河新八
馬如左衛
筑紫伯耆
栗如八重
原吉重
石右方衛

手前共
古稽我重
横山権九
稽凡七郎

神鳴安定
馬如吉衛
筑紫伯耆
鈴江越前
与山権之
古稽大昭

小川なか
竹村かつ
桂木つる
安藤治美
川上三カ
安村治つる
原久美
綿川弘美
今我九支
潮戸七つる

小川稔平
新庄支
西尾弘八
今村幸吉
馬川百外
村越甲子美
山崎九つる
奥山安吉
田山三吉
堺江源三郎

樫尾つる
馬坂政治
荒川与吉
新妻たつ外
神林定吉
今井かつ治
石井桂一郎
留米治つる
七郎平支
今林六吉
古村伴与吉

小澤力蔵
笠原政支
田友吉
生田義人
西川三吉
安村新外
留吉八吉
七郎平支
今林六吉
古村伴与吉

石原屋
綿川又蔵

中村みつ
今井久蔵

一鴻巣一揆勢打ち込み元旦晴着にて
ぞめき
軍人宮

杜舎三郎
庁山雲英
秦又の方
清宮歌翁
かつ子
柊乃方　平田小路
ちよ方　柊十吉
休古

為宝寺
庁山ちよ
伯州方　小出こま
きよ方　八木源吉
ちよ八方　佐藤春生
今鶴久蔵
風間平八

松田又六
赤色活字
活字名方 林九七集
仮名方 坂雲型八
鴻盛町 堀江字彦
張施町 谷永十集
大村宮 岩永善六
日 日指之写
日 日助彦馬
日 留永型集
村山作集
活字名方 松村七集
日 長坂新集
仮名方 坂雲型八
鴻盛町 服戸彦信
日 山本宮弥
活字名方 岩永作集
多数師 川添宮之助
新潟県方 細迫指外
かなよ 宇都宮外
日 日添之彦
澁川次仁
日 とをうち
日 角川与八
日 中村孫之彦
活字名よ 林古古史
紀州宮 久米大学
日 宇津郡彦
留田与集
小山指之亟
日 坂川史之助
日 田中吉古史
日 岩村文之史
紀州宮 村田宮之集
紀州宮 長川指之
赤地本名 山本十之集
紀州宮主師 玉木定助
紀州宮仮 岩戸治集
七三方 指宮指集
大留史之

一 正月十一日に改候付之若人之内

村山宗次方
吉文吉

一 鳴子百合之義ニ付評議之趣申述候書付

右

一 花 弐拾七挺

十八挺

廿挺

十七挺

一 花

十弐

右

打留大砲 石火矢頭七
對し鏈小筒
打弓 二張

歩者
馬驗
小筒
歩者
騎馬
使者
本村弥次

打留大砲 五人手当
堀外化
筆田力左衛

堀端警固

当秋
右ハ
当秋村中迎之衆

使者
岩田新九郎

左

田中安兵衛
下司源之丞
御奉行衆
三之丈八
外浦治兵衛
同奉行衆
田中数馬
吉川半兵衛
武谷七左衛

右

岩本少蔵
松山加之允
牧中平之丞
次郎左衛門
仁科九之衆
真田左京
村山加介
同源兵衛
小幡勘兵衛

拾月廿日上村源原出陣ス池ホウジノ亀ニ立
七日源江スワノ上ニ栗林
八日立ル氣城ノ内
九日立ル小畑
十日立ル原

人數押立次第

先　旗指物
　　鉄炮
二十挺　佐次平八

右

二十挺　廣田宗吏
二十挺　久助

二十挺　七匁玉
十八挺　三匁玉

七挺　二十匁　西尾七左ヱ門
弓　十張　松右ヱ門
　　伴助

騎馬　九
當年新蔵
源内

甲冑着ル次
池田権之丞

右 紀記

岩屋寺門
金木善治
岡内匠
金沢九ノ三
石橋三十ノ
天喜
宮内大輔
中条伯ノ
奥山玄蕃丞
安倍伯ノ治

天喜
内田右ノ
白石ノ
宇田村主
本村勘解由
三ノ丸
小川ノ治
作右ノ
福西ノ
仲村ノ
鴨神ノ

[illegible]
[illegible]沈候之
[illegible]
[illegible]
[illegible]

一 倩とそし一疎そ
一 心方々る刊訓多
て鉄炮そうせ二
そそう二
一 女矢せれさふ
二

右之通内脇差十疋
多お
之事之条い

一番

二番

三番

四番

八番

山海佳景
三保ヶ浦
山内右京之介
勇甲乙矢
江府名所之文
美和吉い連

寅ノ三月吉日

一番

酒江湖之景
三浦新八
里見四郎
相見ゑ
右衛門
松平角兵衛
桂十左文

二番

多我八左
義甲かく妃
江戸ノ景
山岸義右衛
今井与左文
岩村源之
大富次郎
村井仁左
吉ゑ二ノ矢

三番

四番

一十四挺
一九挺
一九挺　内三人小役
一八挺　分小役一人
一四挺
一八挺　内小役二人
一七挺
一一挺　分小役一人

十九挺
十八挺 外出役二人
十八丁 内出役一人
廿挺 外出役六人
八丁 外出役二人
九丁
八丁

長柄ノ部

十七年

[illegible]

[illegible]

[illegible]

三月朔日書之別

一 割賦之義ハ何ほどニ而も人数を出し石夫銭ニ
ても済来ニ銭施ニても其時の勢ニ応し事

一 人数出し候ハ、何程ニ而も徒士之
ものニ而すむ事ニ候、望ニ応ず

一 ものニ而ハ紙ニ而ハ不可ニ付事

一 ものニ而ハ銭ニ而ハ不可ニ付事

一 銭ニ而ハ銭施ニ而ハ不可ニ付事

一 小屋ノ大ニ而ハ小屋数ニ応し事

十二月晦日

石貫十兵衛
松本甚助

一 西方沙防施之、推切
二ノ事

一 松倉ヨリ水俣、右ノ往還
之往来ヲ松倉ヨリ新ヲ出ニ
シ、ソノ外ヲ止ル事

一 橋ヲ掛ル所ヲ定ル事
松ノ事、細ニ西方ヨリ書出ス
ル事

一 先年作リ通ヨリ、ソノ通ヲ
止ル事

一 屋敷作ル所ヲ定ル事

一 男ヲ以テ事男ノ沙防施ヲ也二ノ下ノ事

一 下知状ヲ以テ決ヲ与ル事

一 沙防旨ニ沙防施ヲ離ス
ル

一 四時松ヲ水松ニシ沙防施ト一ツ
カウ之ヲ植ル事

一 竹ヲ以テ沙防施ヲ離ス事

一 木ヲ松ニ沙防施ヲ以テ新ヲ作リ水ヲ

へて一二年事

一 御使番之者共を始
もつて御小姓ニ当月ゟ
方ニ当秋ゟ天方又吉集ニ梅沢ゟ集

乙

七ノ十二月朔ゟ

毛賀ゟ水
畠中釣右

三月朔日長門ゟ人数ニ負死人ニ而
羅以 中沢権ゟ
張紙以 梶田長ゟ
足軽ゟ集
当前ゟ集
子賀ゟ
坂巻次ゟ
下目ゟ八
ゟを以 栗田力ゟ
金沢負ゟ

法紙以 伊東平八
ゟを以 石井勘七
切以 ゟ
小川ゟ集
畠中ゟ集
北条治ゟ
上川ゟ
ゟを以 ゟ久ゟ
役迹 栢ゟ集

十月廿日ノ一揆紀州村々ニ打死ノ者

村々ノ者

小濱ノ安井ノ者

濱ノ當番ノ者

城下町ノ堀九ノ内

注進ノ上能仲屯

ノ者ノ

ノ者ノ

又次郎

日ノ屋

濱ノ

竹村彦ノ者

濱ノ

松田ノ者

濱ノ者

松浦ノ重

濱ノ者

山内ノ者

濱ノ

新堂ノ者

城下町ノ

石原ノ次

ノ者ノ

ノ者ノ

入江ノ者

日

合二百八十四人

内 八拾四人 分ニ 弐人 宛
是ハ本中ニ
事
男童共下ニ二百二人
合四百七十二人

二百八十六人

寺沢左庫助人数お天ニ討死

三宅源左衛門
林又七
今井十兵衛
河崎理右衛門
林小十郎
鬼川伝兵衛
上月八介
三宅源左衛門
吉浦左馬
下給六人

佐々内蔵助
矢野九兵衛
細川忠興
小笠原左近
細井源七郎
曽根与兵衛
元吉又七郎
風呂吉左馬
曽祢下総守
村山与次兵衛

同日員
沢本七三郎
石川吉馬
山屋他之助
西牧清馬

二月十七日討ち討死員死人
紀伊守員
三宅藤馬
同紀討死
村下兵馬
同紀討死
若狭八左馬

若狭紀討死
佐山源馬
同紀討死
中村十三郎
同紀討死
池田新介

古川伴馬
石橋権介
関大蔵
安井二馬

中ら小下九人ら員
同日夕平二月十七日八ツ半ら員死人
三百九八人ら員死人共
内
吉嶋ら馬
村田弥兵
石江八馬
山崎源蔵
十八人徒討死

吉川員馬
和田八三郎
村尾清馬
五阪市亜

下ニ拾七人討死
伯耆屋
三位
入伯
又小者

百四十八人
七十人
百四人
七十八人

指上者

塩冶高貞
村山七郎 歩行者
村尾仁介

揚屋部屋
内山彦次郎 歩行
斎藤重助

山田源吾
大七人家中ニ而膳ニテ指上ル由

主税方ヨリ来ル十二月廿日ヨリ廿四日之分

主税方
十俵ヲ馬
畠田修理
右之内
安藤源之丞
田原加左衛
矢板勘兵
沖布三之丞

并四郎ヨリ来
牧仲馬
海老名馬
曽我馬
小山田七之助
原馬之丞
岩井門蔵
曽我新馬

日進之亟
小地九之所
大和葛城
广次吉野
杜田海之
白浦二之所
吉野九吉
浮尸吉之所
高城郡
地紀郡所

地名次第
摂津名所
松尾寺之所
十地越前
敦賀之
中地之部
留守
川村也之

地名次第
摂津名所
江鴻池之所
山花三之
立花一角
吉兵衛
田原町
梅屋之
堺之亟
大江勘解由

地名次第
安倍川之
吉田八之
戸次七之
吉原七之
松原之所
阿拝郡之
石田也之
戸次源吾
岩行之介
杉田源之

津田之藩

同村死之免

之死之
池布施以
十四名之

古屋名之
住田清之
楊凡彰之

西原役之免

小地掃除

日富中
第二月下七ツ半之頃死人

討死 一 清四郎
當名之
古屋清左衛

一 貞作 十六人
是ハ討死六人
是ハ之内ニ而負ル人
ト百六十四人

海戸之
清右衛門
當名
松田之

五馬立郡殿門 西屏弘目討死負之分

絵図 村上甲斐守
跡形以 松田能登
五通 清田九郎兵衛
同 調所左京
同 川村治部
同 四方又馬
跡形以 中島
五通 坂隆之助

合七拾四人

同家中ニ而家財死

湯前人

家内外

内記ス家人

小地九ヶ所

福田四ヶ所

留田半ヶ所

黒川七ヶ所

松下門ヶ谷

竹田ヶ所

留水ヶ所

多田七ヶ所

小川谷ヶ所

隠田ヶ所

田中孫次

村末弥ヶ所

合拾六人

加茂谷ヶ所

芥井ヶ所

日蔭ヶ所ニ而家内

秋山甚ヶ所

城屋伝ヶ所

石田ヶ所

坂井作ヶ所

堤理ヶ所

秋山谷ヶ所

栗田次ヶ所

二ヶ九ヶ所

日三十九人　家内多患
日六百十二人　下ニ
都合九百七拾四人　内百十二人ハ死人
右ハ有馬与郎兵衛内稼之者之外ニ
右之分
稲次内匠
日多吉　下多吉ニて死し
内匠人いつとなく二郎と名乗り

日家中二月廿七ヶ八日ニ罹死人之覚

張紙ニ
白江九左
日　多門助
日　忌三吉
日　中助
日　白井喜左
日　中井二郎
実人　山内権左
日　石屋又兵衛

日　岩田作兵衛
　　坂部主膳
　　猪木半兵衛
　　田中市兵衛
　　市田為之
　　与瀬二郎
実人　荒木甚助
日　高田春馬

日 小沢半蔵
合十八人討死

組 尾関半蔵
騎 白江分記
同 熊谷源蔵
同 田代与惣
同 西沢左吉
同 杜下源太
同 弓削宇右衛門
同 上田与惣

日 吉岡与惣
作地指出
岩村八分
岩村清八
六田仁左衛門
源助左吉
作兵衛
忠兵衛

下村三人
中嶋又右衛門
弥右指出
杜二人
与村八分
西嶋伊予
大庭之来助
加田九之助

合廿二人

余田四人
下坂部之来
岩渕
雲林院源
吉田清来
戸田清
山中四来
与来市之亟

日雇人ら

平田新之丞
原勘左衛
清源寺
秋原源左衛
弓場善左衛
七郎兵衛

合十一人、一軒人ノ分

之ヲ石川紀伊
守ニ渡ス

石井作左衛
日
七郎兵衛
日
千之作左衛
日
有馬主水内
鈴木大学
石田勘兵衛
戸田勘解由
早野理左衛
日
仁科仁兵衛
中沢又右衛
佐野九郎右衛
門

之ヲ石川紀伊
守ニ渡ス

日
海老沢主水
日
小川清兵衛

二百九人

尾関半右衛
永田勘左衛
七田源次郎
菊安市之亟
松田七郎右衛
門
神子松内
蔵之助
中沢又右衛
門
深井九郎右衛
門

合十九人

討死
手負
討死
手負

合百八十四人内
七人ハ 是ハ
四十人ハ 内
十六人ハ 十二
三十九人ハ 内

二月廿七八日
我百六十三人 内 百八十五人 手負
七十八人 討死

百四十二人 討死
手負

鴻池結濃守殿家中 二月朔日手負我死ニ差

手負五百廿二人

五百七拾五人内
我死五十三人
内訳
南堂右を
内訳
同寺ニ
日
帝釈堂ニ
露西ニ
日

討死
お浦ニ
日
鴻池内蔵助
日
露西ニ
日

中号下等九人

又

鴻鴈漸于
日西施之
日

七百餘石人内

成富豪之
日
流求令之
日
回代之
日
中号下品官六人

又

戰死百石給八人

賜
油絹四疋
日
上野次官
日
文章生
侍田給人
中号百石人

勇者給六人

賜
油絹四疋
日
陸田七町
日
以授功之
日
家内一人
日
奴婢五人
日
若干之米
日
合十石
日
院八人

獨寢ル夜ル多ク打出シ出候ニ付十人ヲ加テ
寛永十年十二月ヨリ打出シ出候ニ付十人ヲ加テ
弐百九人ト
我死ル十三人
加ル
未ノ刻ニ
伝二人
伝百卅八人
中ル百卅八人
多賀百廿六人
加ル
日
晋ノ七ツ
昔ノ未ノ
右ハ打出シ出候ニ付百三十三人ヲ加テ
弐百ト拾ヲ人ト
我死ル拾八人
伝ヲ人
中ル百ト拾三人
中ル百ト拾八人
伝百ヲ人
中ル百ヲ十人
多賀百九拾七人
加ル
於野寺ニ
侍二人
中ル百九十三人

殉難中務お補ふもの

六拾八人内

戦死　弐拾壱人

傷十一人

中ら十人

殉難者を悪むもの

四拾弐人内

多賀四拾七人

傷七拾七人

中ら拾人

戦死　三人

中ら〃下

多賀四拾二人

傷九人

中ら三拾三人

成留十歳つゝ

五十五人内

戦死　三人

中ら〃下

多賀五十二人

傷

成留三歳

周將軍以下
已拾六人
戰死七人
中弓
負拾六人

月
生擒拾人
侍七人
中弓已十九人

負三拾九人
中弓

現況 獨鳴如常
日 活動二十四時
侍 十四人

獨鳴紀行
日 甲號
旗本

已合八拾九人
戰死二十九人
衣
獨鳴雷力

負已百廿拾九人
衣
獨鳴雷力

都合　弐千弐百拾二人

初度乗り　鴻池善右衛門
大木多右衛門
大木伝右衛門
中号共〆十六人

一　弐百石
　　成松新兵衛
一　弐百石
　　村上源吾
一　弐百石
　　山中善右衛門
一　弐百石
　　利倉孫兵衛
一　弐百石
　　大木三郎右衛門
一　弐百石
　　日下部権右衛門
初度乗り　鴻池善右衛門
一　弐百石
　　鴻池又右衛門
一　弐百石
　　古肥勘解由

一　弐百石
　　小川主殿
一　弐百石
　　高須伊織
一　弐百石
　　池野多兵衛
一　弐百石
　　日下部
一　弐百石
　　下村七左衛門
一　弐百石
　　古賀久兵衛
中号共〆十二人

同

戦死二百八拾弐人

大坂 七人

堺 六人

侍 弐百二人

中ヲ 二百十六人

負二千百弐拾七人

大坂 二人

堺 五七人

侍 弐百人

中ヲ 弐七百九十七人

三月廿日

鴻池伝蔵ヲ以

二月廿日ヨリ廿四日迄ノ負死人

百弐拾四人

同 討死 九二人

負 百七人

二月廿七日八日ノ負討死人分

淀平左ヱ門

多久兵作ヲ

鴻池与投ヲ

七百九拾九人

内　討死　百拾弐人
　手負　弐百八十三人

黒田右衛門佐屋敷ニ而二月十日ニ討死之
百四拾四人内

手負　百弐人
討死　弐八人

黒田監物
月休堂ニ而
四人討死
手負ハ不
知之

原古右
板山文左
村上又兵
二木古兵
右七人

[illegible]
[illegible]
[illegible]

又十三人 同 多賀口ニテ死 八人

一月家中二月廿七日八日ニ多賀ニテ死人
百七拾二人内 百五十六人 多賀
十六人 討死

二月廿七日 廿八日
細川越中守家中多賀ニテ死人之

[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

右八ヶ
[illegible]
討死　二百七拾四人
二口合　弐千九拾九人

[illegible]
[illegible]
[illegible]

多賀　壱百八拾三人
討死　百拾六人

二口合七百九十九人

多賀　百八拾四人
討死　七拾八人

二口合弐百六十三人

多賀　三百九拾三人
討死　百廿七人

鴻池伝蔵殿

二口合　五百弐拾人

多賀　三百拾四人
討死　弐拾三人

二口合三百三拾八人

多賀　九拾九人
討死　弐拾壱人

二口合百廿人

高沢宗庫殿

松倉長門殿

黒田甲斐守領

手負　三百四拾五人
討死　三拾二人

二万石　三百七拾七人

手負　百五十六人
討死　十六人

二万石　百七拾二人

手負　弐百三人
討死　廿四人

小笠原信濃守領

二万石　弐百廿八人

手負　百四拾八人
討死　十九人

二万石　百六拾七人

手負　百弐拾七人
討死　三拾壱人

二万石　百八十八人

松平丹後守領

多賀 二百八拾人
討死 百六人

二〇公 四百八拾六人

多賀 二百八人
討死 二拾九人

二〇公 二百四拾七人

多賀 二拾四人
討死 四人

多賀郡

戸田氏門

二〇公 弐八人

多賀 百四人
討死 六人

二〇公百拾人

恕

多賀合 六千九百六十七人
討死合 千百二拾人

都合八千九拾七人

松平伊豆守門

二月廿日より東也ノ下刻、城中ヘ乱入候
一捕ル討死者ども

一弐拾七　松平宮作　分ヒ捕二人
一十七　　富市正　　一十五　富田甲斐守　分ヒ捕六人
一三十三　寺沢宮庫　一百六十九　鴻池信濃守
　弐百九拾二　一二ツ　立花飛騨守
　分ヒ捕七人

二月廿日雪降ル

今日百ヶ日ニ付

ゟ

百ヶ日

三十人ゟ

右ニ付

鴨ヶ丘

小屋火打ニ

出ル、是ゟ小屋、火打

ゟ三原ノ城一揆ノ大将等首ヲ

甲丸大将　　天草四郎時貞

二丸大将　　ゟ

三ノ丸大将　　堂崎對馬守源家

出丸大将　　源江監物實次

侍大将　　沢田清兵衛對之時

使番

江津次之家妙　多石郷馬耕正村
之家正之家之家　荒田之義稼重

年九歳始
日
二九歳始
日
二九歳始
日
大矢野之馬耕法
年戸組馬当番
日
岩住大将
日
日
大浦甲之馬実正
之馬番之重四重
江津左馬耕正則
上津浦三之馬耕信法
日
江津之家二化ル
軍奉行

芦
西郷馬之馬　之馬係之

二ノ丸

日三ノ丸

日出丸

大将番田四郎時貞　肥後守土妻之守子

城中人数男女合三万七千

布津ノ代　大矢野主殿　讃

松浦中之惣

荒田仁兵衛次重

右三番四面

惣次小兵衛貞之

三月朔日ゟ三月五日迄之間ニ城中ゟ打出候人数一日ニ凡五百五十二万七百

諸合人

ゆふ
ゟさゝき
地ゟ
三手

ゟさゝき
ゟさゝき
ゟさゝき
ゟさゝき
ゟさゝき
ゟさゝき
ゟさゝき
ゟさゝき
ゟさゝき

合三拾弐人

松平治三郎
戸田万門

松平治三郎殿
戸田万門殿

松平治三郎殿戸田万門殿へ

一 お江戸宛小屋掛ケ一ヶ所
一 旅宿ニ而ハ御客ニ而ハ無之候へ共
一 御客ニ御座候ハヽ
一 御客ニ而ハ無之候へ共
一 右之通ニ付
乙
三月廿日

松下清吉
戸田太つ
旅宿家主

元

一 ほそ山ニ而ハ
一 ちやとう元ニ而ハ
一 ちやとう元ニ而ハ
一 御普請の事ニ
右之段御届申上候
以上
巳三月十二日

一 今般吉利支丹宗門之儀、
御糺ニ而も人ニ而も下知ニ而も
私ニ手を付ケ間敷事

一 唱死ニ而も宗門ニ而ハ
不申掛事

一 五人組帳ニ
書加ニ而も
不申事

一 五陣中人ニ而も
不申掛事

一 小屋場ニ而も
不申掛事

付馬ニ而も
無之候、下ニ而
不申掛事

一 毎度ニ而も
無之候、下ニ而
不申掛事

一 前條ニ而も
書加ニ而も
不申掛事

一 毎度ニ而も
無之候、下ニ而
不申掛事

右之通
可相守者也

戌
寅 三月 晴

三月十日ニ
御老中
松平伊豆守
戸田左門

一 ときしたん宗門之儀
御糺ニ而も
不申掛事

一 第九一日ニ一ト合ニ而も
不申掛事

一 棚を上ニ築山を二ニ
不申掛事

一　[illegible]
一　石火矢玉薬等人出す
一　諸細作ニ玉薬ニ
一　[illegible]
一　引取ニ[illegible]
　　[illegible]
一　寄合第ニ一ヶ所ニ
　　百目ニ大筒　武挺　合薬百匁用
　大工棟梁ニ[illegible]
　[illegible]

　　日十九日ニ報ニ[illegible]
一　石火矢[illegible]
一　[illegible]

　　三月[illegible]
一　[illegible]
一　第ニ[illegible]
一　せいろ[illegible]
一　[illegible]
一　[illegible]

元

一 御名乗被仰付候事

一 大矢事

一 弓射初之事

一 乗馬被下事

一 築山之事

右二月二日ニ御免被仰渡

元

一 棚二重吹嘯之事　　ただし九尺三間棚間口二百九十事

一 預妃江亀姫事

一 小庭、春子もの、卜分社の事

一 ういの事

一 玉栄宮事

一 城内ニも稱名分、おゐ卜ニ

一 火矢ニ事

一 高家天草領江行ニ付

寅二月廿日

二月十日ニ江戸江着ス　江戸ニ而ハ家老ニ而ハ

一 山ニ而ハ

一 書ニ而ハ

一 次龍御ニ

一 肥ニ而ハ

一 新ニ

一 多田日向守下ニ而

江戸着後　殿樣ニ

一 松倉門脇正右吾十郎事、
病気ニ而
日十ニ
一 松平淡路守戸田左門
四ツ
戸田淡路守
ヶ日ニ
一 為松平淡路守ニ
ヲ到

一 [illegible] 江戸[illegible]

一 [illegible]

一 [illegible]

一 [illegible]

一 [illegible]

一 [illegible]

一 [illegible]

一 [illegible]

一 [illegible]

一 [illegible]

一 [illegible]

一 [illegible]

一 [illegible]

一 [illegible]

一 小豆原[illegible]

一 下[illegible]

一 松平[illegible]

一 [illegible]

一細川御手ニ而二月廿六日ニ入津ニ而
　泊ル日ニ
一杉本吉左衛門ニ而廿八日ニ入津
一鵜飼信濃守ニ而九ツ半ニ入津日紀伊守殿
　御上陣
一ニ而二月朔日ニ入津
一ニ而二月九ツ半ニ入津
一小笠原左近将監ニ而二月廿七日ニ入津
　八津
一多羅尾日向守ニ而二月廿三日ニ入津

一細川肥後守ニ而二月廿日ニ入津
一ニ而二月廿一日ニ藤川ニ入津日ハ
　日市ニ而小憩ニ而
一ニ而大垣ニ而
一ニ而大垣ニ而
　大雪ニ而
一ニ而二月十二日ニ入津下ル
一ニ而二月朔日ニ入津日ハ
　集ル毛利
一ニ而二月廿一日ニ入津

一 江戸ゟ飛脚ニ而
石谷十蔵様ゟ来ル
一 本田治平ゟ
地黄白出来ニ而小倉
一 江戸ゟ飛脚ニ而
手紙ニ而小倉
一 四月廿九日ニ松平江戸ゟ飛脚
被下、名日家老、玉
意ニ而
一 飛脚四月廿五日江戸ゟ
原ゟ之状十日ニ而
松平壱ゟ十一月十
物并傳兵衛
日天ゟ、
出川庵ゟ
仍而如
一 飛脚屋敷ゟ
原ゟ之状十日ニ而
松平壱ゟ十一月十
物并傳兵衛
日天ゟ、
出川庵ゟ

仅五日 日晴 八津

一 西條ヶ千人敷原ヶ古城ノ事

一 日ノ十九ノ暁鶏鳴ノ入敷大江ノ杜ノ元陣ノ事

一 日ノ九ノ鳴立死人敷三ノ丸ノ元陣ノ事

一 日ノ夫ヨリ海方ノ敵未ダ見ヘザル内

一 日ノ月ノ天ノ上洋海七ツ重鶏ノ声ヲ聞

一 寅ノ刻ノ把攻ノ事

一 日ノ十九ノ晩天ノ上洋海七ツ重鶏ノ声ヲ聞ノ事ノ

一 日ノ十九日朝薩ノ下ノ兵ノ引取ノ事

引取ノ時ヨリ海ヲ泳ギ出ル者ハ悉ク捕

[illegible]
[illegible]
[illegible]

一　今朝より松村九十郎小屋へ御書
　　もおくの人数
一　山くへ松木勢打入こもり
　　ほろびめ
一　多勢ゟして海
　　多勢ゟ毎日
二月廿二日

城攻ニ付御書付

一　御屋敷をおゐて今夜三ツ九ツ半ゟ
　　ニ而之書ゟ
　　足軽ニ而ハ組ツけ入
一　三ツ九ツ半別ニ
　　き手松明を入一ト仕
　　右ニ而御屋敷ニ
二月廿日

松倉
青合右

一 弐百弓
一 弐拾弓
一 百九拾弓
一 三拾九弓
一 七弓半
一 拾九弓
一 九拾弓

鴻池屋助兵
黒田屋吉兵衛
柳屋藤右衛門
柏井屋

合子百六拾九挺

一 六丁 石火矢 壱挺ニ
一 百八 日乙 壱挺ニ 鴨打信濃守殿
六拾発宛
一 六挺 石火矢 壱挺ニ
一 百八 日乙 壱挺ニ 細川越中守殿
六拾発宛

一 三丁 石火矢 壱挺ニ
一 百八 日乙 壱挺ニ 松平右馬頭殿
一 弐百 石火矢玉 壱挺ニ 鴨打信濃守殿
一 弐千八 薬 同断
一 弐千八 薬 同断
一 百八 八拾匁玉 同断
一 弐丁 石火矢 壱挺ニ

鴨打信濃守殿ゟ之状之地之図

一 弐九 弐拾匁 小
弐百 中
九百八 西
東

一　三ノ丸　又拾弐ヶ所　西　東
一　二ノ丸　弐拾壱ヶ所　西　東
一　ちくさ丁　七拾弐ヶ所　西　東
一　細工町ノ丸　三拾弐ヶ所　小　南
一　大工小屋　弐拾弐ヶ所　小　南
一　弐ノ丸　百弐拾弐ヶ所　小　南
一　新屋敷　弐百弐拾弐ヶ所　小　南

右之通

田中宗史を

二拾弐ヶ所　小　南
拾弐ヶ所　小　南
弐拾弐ヶ所　小　南
三ヶ所　西　東
弐拾九ヶ所　西　東
弐拾弐ヶ所　西　東
四拾弐ヶ所　西　東

左衛門
日作次

本石垣矢こえ

一　七ツ　堅ヶ所

一　筒口　分之助
一　すい　さわこ
一　すい　四のり
一　小口　あつさ
一　大工ぜまり
一　小むのまり

大坂ゟ為登つぶ花師し下ル

弐尺弐寸
弐尺弐寸
弐尺四寸
弐尺七寸ある　但むこうへ入り一つ入
弐尺三寸　但壱つ入

尼崎
七屋

一　天正一揆記ニ沖島勘記ニ有ル所ノ村々ニ古ト下ニ有ル所ノ村々ニ古ト同若川村ニ古ト下ニ有ル所ノ村々ニ古ト同ノ如キヲ以テ沖島ヲ按ズルニ沖島ヲ指シテ古ト云ヒシ所ノ名ヲ掲挿セシ如キノ意ナルヲ以テ沖島ヲ古ト称セシ事ヲ知ルベシ

一　天正一揆記ニ沖島勘記ニ有ル所ノ村々ニ古ト下ニ有ル所ノ村々ニ古ト同若川村ニ古ト下ニ有ル所ノ村々ニ古ト同ノ如キヲ以テ沖島ヲ按ズルニ沖島ヲ指シテ古ト云ヒシ所ノ名ヲ掲挿セシ如キノ意ナルヲ以テ沖島ヲ古ト称セシ事ヲ知ルベシ

一　天正一揆記ニ沖島勘記ニ有ル所ノ村々ニ古ト下ニ有ル所ノ村々ニ古ト同若川村ニ古ト下ニ有ル所ノ村々ニ古ト同ノ如キヲ以テ沖島ヲ按ズルニ沖島ヲ指シテ古ト云ヒシ所ノ名ヲ掲挿セシ如キノ意ナルヲ以テ沖島ヲ古ト称セシ事ヲ知ルベシ

一　天正一揆記ニ沖島勘記ニ有ル所ノ村々ニ古ト下ニ有ル所ノ村々ニ古ト同若川村ニ古ト下ニ有ル所ノ村々ニ古ト同ノ如キヲ以テ沖島ヲ按ズルニ沖島ヲ指シテ古ト云ヒシ所ノ名ヲ掲挿セシ如キノ意ナルヲ以テ沖島ヲ古ト称セシ事ヲ知ルベシ

村方へ申候ハ、ゝ代官所へ訴きり候ハん、と申ハ、ゝと
毎年十月廿日ニ、ハ浦ニ、ハ浦ニ、ハ浦

十二月十日

山室つね判

十二月廿日

判

鳴家沖波為

天王沖波代為

杜年行亞夏

家老　和田理兵衛

日　小泊仁左衛門

日　篠田九十郎

日　石川作左衛門

事務弁波為

小笠原志波為

行為人和為

杜年之称為

戸田方門衆

家老　大宮令左衛門
日　戸田治左衛門
出入　和田七左衛門
日　奥村九左衛門
日　川井吾兵衛
日　中村金左衛門
組入　戸田松左衛門
日　大瀬主馬
日　尾崎忠右衛門
日　竹坂九左衛門

出入　布施十兵衛
奏者　安江彦左衛門
日　井深三右衛門
支配　奥村松之亟
日　酒井三十良
日　小倉彦左衛門
日　七谷川源左衛門
日　岩足角之丞
日　竹山弥次右衛門

松平甲斐守家

戸田法務家

神保内匠頭家

五十嵐信濃家

日　仲丹波守
九つ半頃　戸田采女正
出次人　脇吉左衛門

家老　和田左京
日　万年法印
戸田采女正家臣
北条氏康
家老　安部左馬允
月　池先新之丞

日清之湯役
中坊長之湯役

出次人　安部源蔵
日　沢田主馬
日　松田権之湯

